

委員会における一般傍聴席のあり方

1 検討趣旨

開かれた区議会とするため、区民への情報発信拡大の一環として、委員会における一般傍聴席の配置を見直し、委員会の議論をより聞きやすく、より身近に傍聴できるようにする。

2 検討結果

(1) 委員会室における議員傍聴席を一例削減し、一般傍聴席の範囲を拡大する。

なお、これまで企画総務委員会以外の各委員会で議員傍聴席に着席している課長(3人)については、議員傍聴席の削減に伴い、通常の理事者席への移動を理事者側と協議する。

(2) 「音声聞き取りづらい」と申し出があった場合には、今年度に設置した「磁気ループシステム」()を活用し、受信器の貸出し等により対応する。

【主な意見】

- ・ 現在の一般傍聴席の配置では、やはり奥が聞き取りづらいと理解している。
- ・ 委員会室の一番後ろ、本当に端に置かれているような現状で映像も見づらい、音も聞きづらいというのは、かなり不満と聞いているので、そこを幾らかでも改善できるような配置にできればいい。
- ・ コストをかけて大きなレイアウト変更をするということではなく、今やれる中でレイアウト変更等をしながら、より傍聴者が見やすい環境、聞きやすい環境にできるよう改善を図るのがよいのではないかと。
- ・ より発言者の席に近付け、臨場感のある場所に傍聴席を配置すべきだと思う。

磁気ループシステム

専用のマイクで話した声を磁気に変換し、専用の受信器又は対応する補聴器で受信することにより、音が聞き取りやすくなるシステム

(参考) 実施状況

第2回定例会の各委員会から、(別紙)レイアウト図のとおり、変更した。

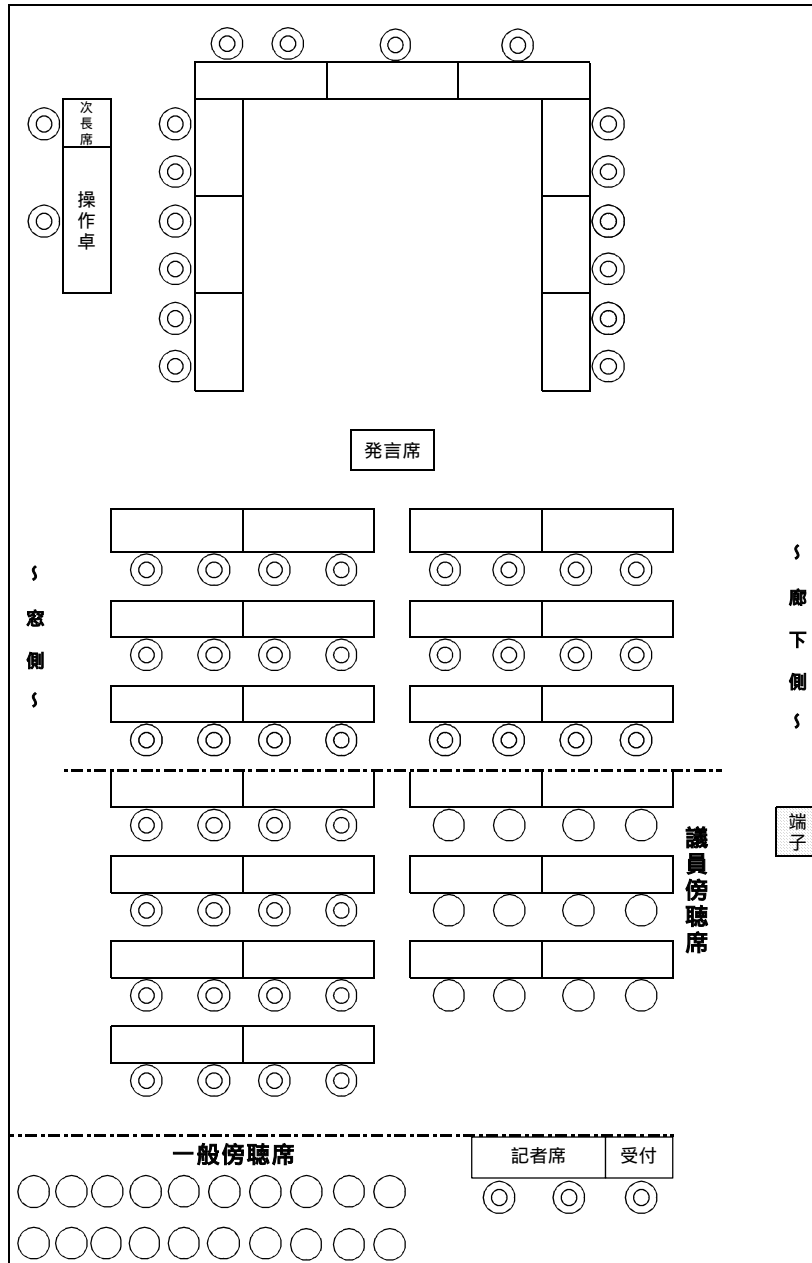
一般傍聴席の変更内容は、次のとおりである。

椅子の前後左右に空間をつくり、前から7人・6人・7人の3列とする。

出入りがしやすく、前後の圧迫感を解消するため、前列の人の真後ろにならないように、若干横にずらして(互い違いにして)配置する。

傍聴受付は、出入口との位置関係を考慮し、現状とほぼ同じ場所に配置する。

第2委員会室 レイアウト図（現在）
（特別委員会の場合）



第2委員会室 レイアウト図（変更案）
（特別委員会の場合）

